

令和2年1月27日

船橋市長 松戸 徹 様

船橋市リハビリセンター運営委員会
委員長 鳥海 正明

船橋市リハビリセンターの第3次中期目標の策定について（報告）

船橋市リハビリセンター運営委員会設置要綱第2条第1号の規定により、令和2年4月以降に船橋市リハビリセンターが達成すべき中期目標の策定を行ったので、別添のとおり報告する。

船橋市リハビリセンター第3次中期目標

船橋市リハビリセンター条例（平成25年条例第6号）第13条第2項の規定に基づき、船橋市リハビリセンター（以下「センター」という。）が達成すべき管理に関する中期的な目標（以下「中期目標」という。）を次のように定める。

前文

センターは、本市における地域で生活しながらリハビリを行う方を対象に総合的なリハビリを提供する施設として、リハビリテーション科の診療所と訪問看護ステーションの運営、また、医療保険・介護保険適用外のリハビリ事業を実施する。

さらに、地域リハビリテーションを推進するための拠点事業として、市内の回復期病床を持つ病院等と密接な連携体制を整え、回復期から維持期までの継続したリハビリテーションを提供するため、リハビリの総合相談や啓発活動等を行い、医療・介護の専門家、家族等がリハビリテーションの立場から協力しあう「地域リハビリテーション」の推進を支援していくなどの取り組みを実施する。

このため、センターを管理する指定管理者においては、これまでに培った維持期のリハビリテーションに関するさまざまなノウハウを活用したセンターの運営が期待されるところであり、指定期間中の安定した管理運営に最大限の努力を傾注されたい。

第1 第3次中期目標の期間

第3次中期目標の期間は、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間とする。

第2 第3次中期目標

センターは、以下に示す中期目標を達成するよう努めなければならない。

1 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

センターが本市における地域リハビリテーションの拠点施設としての役割を担うには、第一に、利用者に継続的なリハビリを受けられる、または受けたいと思える環境を作ることが必要である。そのためには各部門における利用者及びその家族の相談やニーズに対応し、個々の状況に応じた最適なサービスを提供することにより利用者及びその家族の利用満足度を高め、もって生活の質の向上を図ることが重要である。

目標値としては、次のとおり定める。

I 外来患者について

目標 1 利用者アンケートによる患者満足度

別紙2の1外来患者へのアンケート項目中①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上

別紙2の1外来患者へのアンケート調査項目中④から⑤について、「良くなる」と「維持できる」を足した割合が85%以上

※1 外来患者満足度の定義については別紙1参照のこと。

※2 ④から⑤について別紙3の除外規定に該当する者はアンケート対象から除く。

II 通所リハビリ利用者について

目標 2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価対象期間において指定通所リハビリテーションの提供を終了した者のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者の占める割合が100分の20以上

目標 3 介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合100分の50以上

目標 4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

目標 5 利用者アンケートによる患者満足度

別紙2の通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目中①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上

別紙2の通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目中④から⑤について、「良くなる」と「維持できる」を足した割合が85%以上

※1 通所リハビリ利用者満足度の定義については別紙1参照のこと。

※2 ④から⑤について別紙3の除外規定に該当する者はアンケート対象から除く。

III 訪問リハビリ利用者について

目標 6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価対象期間において指定訪問リハビリテーションの提供を終了した者のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者の占める割合が100分の20以上

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

目標8 利用者アンケートによる患者満足度

別紙2の訪問リハビリ利用者アンケート調査項目①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上

別紙2の訪問リハビリ利用者アンケート調査項目④から⑤について、「良くなる」と「維持できる」を足した割合が85%以上

※1 訪問リハビリ利用者満足度の定義については別紙1参照のこと。

※2 ④から⑤について別紙3の除外規定に該当する者はアンケート対象から除く。

IV 訪問看護利用者について

目標9 利用者アンケートによる患者満足度

「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上

※ 訪問看護利用者満足度の定義については別紙1参照のこと。

V リハビリ事業利用者について

目標10 利用者アンケートによる患者満足度

「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上

※ リハビリ事業利用者満足度の定義については別紙1参照のこと。

2 財務内容の改善に関する事項

センターが患者およびその家族に対して質の高いサービスを提供しつづけるためには、運営の基盤となる財務状況の安定が必須条件となる。このため、センターが有するさまざまな人的・物的資源を有効に活用することにより、収入増及び経費の削減を図り、安定的な経営を行うことのできる適正な財務状況の維持に努めること。

目標値としては、次のとおり定める。

目標 1 1 診療所部門 経常収支比率 100%以上

目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率 100%以上

3 その他管理に関する重要事項

地域リハビリテーション拠点事業の実施について

障害のある人々や高齢者及びその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、安全にいきいきとした生活を送るためにリハビリテーションを必要とする人が、少ない資源の中で、医療、介護等のサービスを楽しむためには、急性期から維持期までのあらゆるステージにおいて、適切な支援が継続的に行われる必要がある。

しかしながら、地域リハビリテーションは市民やリハビリ関係者において、その重要性・必要性に対して未だ十分な認識がされておらず、供給量も不足しているのが現状である。

このことから、市民及び市内のリハビリテーション関係者に対してリハビリテーションの重要性及び必要性を周知すること、市内のリハビリテーション関係者の育成、医療及び介護の連携強化並びにリハビリテーションに関する実態把握を目的として、地域リハビリテーション拠点事業を実施することにより、地域リハビリテーションを推進していくよう支援に努めること。

目標としては、次のとおり定める。

目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う。

第3 添付書類

別紙 1 中期目標のうち利用者アンケート及び経常収支比率における定義

別紙 2 各目標アンケート調査項目

1 外来患者へのアンケート調査項目

2 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目

3 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目

4 訪問看護利用者へのアンケート調査項目

5 リハビリ事業利用者へのアンケート調査項目

別紙 3 アンケート対象除外規定

別紙1 中期目標のうち利用者アンケート及び経常収支比率における定義

	項目	定義
1 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項	外来患者満足度 (E)	<p>外来患者及びその家族に対し、①から③の項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙2）を行う。患者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(E) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(E)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
	通所リハビリ利用者満足度 (F)	<p>通所リハビリ利用者及びその家族に対し、①から③の項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙2）を行う。利用者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(F) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(F)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
	訪問リハビリ利用者満足度 (G)	<p>訪問リハビリ利用者及びその家族に対し、①から③の項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙2）を行う。利用者及び</p>

		<p>その家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(G) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(G)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
	<p>訪問看護利用者満足度 (H)</p>	<p>訪問看護利用者及びその家族に対し、各項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙2）を行う。利用者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(H) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(H)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
	<p>リハビリ事業利用者満足度 (I)</p>	<p>リハビリ事業利用者及びその家族に対し、各項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙2）を行う。利用者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(I) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$

		有効回答数) × 100 (単位 : %) (I)' = (「満足」の回答数) ÷ (全有効回答数) × 100 (単位 : %)
2 財務内容の改善に関する事項	経常収支比率(J)	各部門の収入(a)の合計を各部門の支出(b)の合計で除して100を乗じて算出した割合。算出式は次のとおり。 (J) = ((a) ÷ (b)) × 100 (単位 : %)
3 その他管理に関する重要事項	地域リハビリテーション拠点事業の実施(K)	毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う。

別紙2 各目標アンケート調査項目

1 外来患者へのアンケート調査項目

①から③までの3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
- ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
- ③待ち時間についてご満足いただけましたか。

④から⑤までの2項目について3段階評価（良くなる・現状が維持できる・悪化する）を行うアンケート調査を実施する。

- ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
- ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

2 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目

①から③までの3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
- ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
- ③通所リハビリのスケジュールについてご満足いただけましたか。

④から⑤までの2項目について3段階評価（良くなる・現状が維持できる・悪化する）を行うアンケート調査を実施する。

- ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
- ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

3 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目

①から③までの3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
- ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
- ③訪問のスケジュールについてご満足いただけましたか。

④から⑤までの2項目について3段階評価（良くなる・現状が維持できる・悪化する）

を行うアンケート調査を実施する。

④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると考えていますか。

⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると考えていますか。

4 訪問看護利用者へのアンケート調査項目

以下の3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

○当センターのスタッフが提供する訪問看護についてご満足いただけましたか。

○職員の対応についてご満足いただけましたか。

○訪問のスケジュールについてご満足いただけましたか。

5 リハビリ事業利用者へのアンケート調査項目

以下の3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

○当センターのパワーリハビリについてご満足いただけましたか。

○当センターのプールリハビリについてご満足いただけましたか。

○職員の対応についてご満足いただけましたか。

○リハビリのスケジュールについてご満足いただけましたか。

別紙3 アンケート対象除外規定

以下の項目に該当する者はアンケートの対象から外す。

- リハ開始後調査時点までに2週間以上通院できなかった期間がある場合
- 質問に対して正確な判断ができない認知・精神状態である場合（認知症・高次脳機能障害・精神疾患等）
- 進行性疾患など医学的に全身状態が悪化することが明らかな場合（例：パーキンソン関連疾患等）